



履修上の注意点

【一般事項】

- ・教室欄のBFLMは鶴甲第1キャンパス、Iは六甲台本館(経済・経営学部)、IIは法学部学舎、IIIは第三学舎、IVは第四学舎、Vは国際協力研究科学舎、VIはアカデミア館、VIIはフロンティア館、三木は三木記念館を示します。NTTDATA IT Room は第三学舎2階です。
- ・履修登録後、登録内容と出席している授業が合っているか必ず確認してください。
- ・履修登録期間にうりぼーネットでエラーが表示される場合は、履修条件等をよく確認した上で自学部の教務係に履修の確認、修正を行ってください。
- ・3年次編入学生は編入生用の科目コードがある場合、編入生用のコードで履修登録して下さい。

【経済学部開講科目について】

- ・既修得科目は受講できません。(同等の科目も含む。新旧科目対照表を確認すること。)
- ・環境経済論を修得済の場合、Environmental Economicsは履修できません。(その逆も同じ。)
- ・グローバル環境における総合商社(ビジネス体感型ワークショップ)を修得済の場合、グローバル環境におけるリーダーシップ～総合商社の観点から～は履修できません。
- ・産業組織論を修得済の場合、Industrial Organizationは履修できません。(その逆も同じ。)
- ・経済学部1・2年生のI群科目、3年生以上「研究指導」、4年生の「外書演習」は、教務係で履修登録します。(ただし、再履修の場合は各自うりぼーネットより履修登録してください。)
- ・中級ミクロ経済学I II及び中級マクロ経済学I IIを再履修する場合、中級ミクロ経済学I II又は中級ミクロ経済学I II(再履修)及び中級マクロ経済学I II又は中級マクロ経済学I II(再履修)をそれぞれ受講してください。
- ・[S]はセメスター開講です。
- ・★印は、履修人数の制限があります。履修希望者は経済学部HP(授業ページ)の掲示を確認の上、履修希望を申請(抽選登録)してください。抽選の結果、決定された授業科目は削除できません。
- ・☆印は法経連携専門教育プログラム科目です。(「法経総合概論I」「法経総合概論II」の両方に合格した者は履修できません。)
- ・◎印はIFEEK科目です。プログラム生のみ履修可能です。(「IFEEK特別演習」は、教務係で履修登録します。)
- ・■印は、IFEEK生・KUPES生のみ履修可能な上級科目です。
- ・○印は、EUエキスパート人材養成プログラム科目です。Aspects of EU Economies(Lecture)A・Bの履修を希望するEUエキスパートプログラムの法学部生・国際人間科学部生は、履修登録期間に経済学部教務係にメールで連絡してください。
- ・EUエキスパート人材養成プログラムの他学部生及び法経連携専門教育プログラム生の他学部生で、経済学部専門科目を履修する場合は履修登録期間に経済学部教務係までメール連絡してください。
- ・◆印は、英語力強化科目です。学部2年生～大学院生が履修でき単位認定されますが、卒業要件には含まれません。
- ・△印は、高度教養科目です。
- ・上級科目(Advanced科目含む)は、中級ミクロ経済学I・II(経済原論I)、中級マクロ経済学I・II(経済原論II)、経済史、統計学を修得済み、かつ履修前提科目を修得済みの経済学部生が履修可能(アドバンスプログラム生は、履修可能です。)
- ・「日本史及び西洋史(教職科目)」を履修できるのは、14年度以前生の教員免許状(中学・社会)取得希望者のみです。

全学共通授業科目の履修については、国際教養教育院のHPで確認してください。

「全学共通授業科目の履修について」を熟読してください。

高度教養科目の履修については、うりぼーポータル「高度教養科目」ページで確認してください。

http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/blue11/index\_kodokyouyou.html

他学部授業科目の履修については、該当学部の履修上の注意事項をよく確認して履修登録をして下さい。

- ・開講学部のシラバス・掲示等で履修登録条件・登録方法、履修可能な専門科目で経済学部の卒業要件に含まれるかどうかを必ず確認して下さい。
- ・他学部専門科目で経済学部専門科目と内容が重複する授業科目は履修することができません。

クォーター制に伴う科目名新旧対照表(15年度以前生対象) 新科目名(単位数)―旧科目名(単位数)

初級経済学(2)―経済学(2)	経済数学I(1)・経済数学II(1)―経済数学(2)
財政学(2)―財政学総論(2)	中級ミクロ経済学I(2)・中級ミクロ経済学II(2)―経済原論I(4)
公共経済学(1)―公共経済論(2)	中級マクロ経済学I(2)・中級マクロ経済学II(2)―経済原論II(4)
計量分析演習(2)―情報処理(2)	中級ミクロ経済学I(再履修)(2)―中級ミクロ経済学I
国際経済学(2)―国際経済基礎論(2)	中級ミクロ経済学II(再履修)(2)―中級ミクロ経済学II
経済体制論(2)―経済システム論(2)	中級マクロ経済学I(再履修)(2)―中級マクロ経済学I
開発経済学(2)―経済開発論(2)	中級マクロ経済学II(再履修)(2)―中級マクロ経済学II
中近世日本経済史(2)―中・近世日本経済史(2)	中級ミクロ経済学I演習(1)・中級ミクロ経済学II演習(1)―演習経済原論I(2)
中近世西洋経済史(2)―中・近世西洋経済史(2)	中級マクロ経済学I演習(1)・中級マクロ経済学II演習(1)―演習経済原論II(2)
近現代日本経済史(2)―近・現代日本経済史(2)	上級ミクロ経済学IA(2)・上級ミクロ経済学IB(2)―ミクロ経済学(4)
近現代西洋経済史(2)―近・現代西洋経済史(2)	上級マクロ経済学IA(2)・上級マクロ経済学IB(2)―マクロ経済学(4)

科目名変更に伴う科目名新旧対照表(18年度以前生対象) 新科目名(単位数)―旧科目名(単位数)

上級計量経済学A(2)―上級統計推理論(2)	上級計量経済学B(2)―上級計量経済学(2)
------------------------	------------------------

科目名変更に伴う科目名新旧対照表(19年度以前生対象) 新科目名(単位数)―旧科目名(単位数)

グローバル環境におけるリーダーシップ～総合商社の観点から～(2)―グローバル環境における総合商社(ビジネス体験型ワークショップ)(2)
---





履修上の注意点

【一般事項】

- ・教室欄のBFLMは鶴甲第1キャンパス、Iは六甲台本館(経済・経営学部)、IIは法学部学舎、IIIは第三学舎、IVは第四学舎、Vは国際協力研究科学舎、VIはアカデミア館、VIIはフロンティア館、三木は三木記念館を示します。NTT DATA IT Roomは第三学舎2階です。
- ・履修登録後、登録内容と出席している授業が合っているか必ず確認してください。
- ・履修登録期間にうりぼーネットでエラーが表示される場合は、履修条件等をよく確認した上で自学部の教務係に履修の確認、修正を行ってください。
- ・3年次編入学生は編入生用の科目コードがある場合、編入生用のコードで履修登録して下さい。

【経済学部開講科目について】

- ・既修得科目は受講できません。(同等の科目も含む。新旧科目対照表を確認すること。)
- ・環境経済論を修得済の場合、Environmental Economicsは履修できません。(その逆も同じ。)
- ・グローバル環境における総合商社(ビジネス体感型ワークショップ)を修得済の場合、グローバル環境におけるリーダーシップ～総合商社の観点から～は履修できません。
- ・産業組織論を修得済の場合、Industrial Organizationは履修できません。(その逆も同じ。)
- ・経済学部1・2年生のI群科目、3年生以上「研究指導」、4年生の「外書演習」は、教務係で履修登録します。(ただし、再履修の場合は各自うりぼーネットより履修登録してください。)
- ・中級ミクロ経済学I II及び中級マクロ経済学I IIを再履修する場合、中級ミクロ経済学I II又は中級ミクロ経済学I II(再履修)及び中級マクロ経済学I II又は中級マクロ経済学I II(再履修)をそれぞれ受講してください。
- ・[S]はセメスター開講です。
- ・★印は、履修人数の制限があります。履修希望者は経済学部HP(授業ページ)の掲示を確認の上、履修希望を申請(抽選登録)してください。抽選の結果、決定された授業科目は削除できません。
- ・☆印は法経連携専門教育プログラム科目です。「法経総合概論」は、H25年度までに「法経総合概論I」「法経総合概論II」の両方に合格した者は履修できません。
- ・◎印はIFEK科目です。プログラム生のみ履修可能です。「IFEK特別演習」は、教務係で履修登録します。
- ・■印は、IFEK生・KUPES生のみ履修可能な上級科目です。
- ・○印は、EUエキスパート人材養成プログラム科目です。Aspects of EU Economies(Lecture)A・Bの履修を希望するEUエキスパートプログラムの法学部生・国際人間科学部生は、履修登録期間に経済学部教務係にメールで連絡してください。
- ・EUエキスパート人材養成プログラムの他学部生及び法経連携専門教育プログラム生の他学部生で、経済学部専門科目を履修する場合は履修登録期間に経済学部教務係までメール連絡してください。
- ・◆印は、英語力強化科目です。学部2年生～大学院生が履修でき単位認定されますが、卒業要件には含まれません。
- ・△印は、高度教養科目です。
- ・上級科目(Advanced科目含む)は、中級ミクロ経済学I・II(経済原論I)、中級マクロ経済学I・II(経済原論II)、経済史、統計学を修得済み、かつ履修前提科目を修得済みの経済学部生が履修可能(アドバンスプログラム生は、履修可能です。)
- ・「日本史及び西洋史(教職科目)」を履修できるのは、14年度以前生の教員免許状(中学・社会)取得希望者のみです。

全学共通授業科目の履修については、国際教養教育院のHPで確認してください。

- ・「全学共通授業科目の履修について」を熟読してください。

高度教養科目の履修については、うりぼーポータル「高度教養科目」ページで確認してください。

- ・[http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/blue11/index\\_kodokyoyouyou.html](http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/blue11/index_kodokyoyouyou.html)

他学部授業科目の履修については、該当学部の履修上の注意事項をよく確認して履修登録をして下さい。

- ・開講学部のシラバス・掲示等で履修登録条件・登録方法、履修可能な専門科目で経済学部の卒業要件に含まれるかどうかを必ず確認して下さい。
- ・他学部専門科目で経済学部専門科目と内容が重複する授業科目は履修することができません。

クォーター制に伴う科目名新旧対照表(15年度以前生対象) 新科目名(単位数)―旧科目名(単位数)

初級経済学(2)―経済学(2)	経済数学I(1)・経済数学II(1)―経済数学(2)
財政学(2)―財政学総論(2)	中級ミクロ経済学I(2)・中級ミクロ経済学II(2)―経済原論I(4)
公共経済学(1)―公共経済論(2)	中級マクロ経済学I(2)・中級マクロ経済学II(2)―経済原論II(4)
計量分析演習(2)―情報処理(2)	中級ミクロ経済学I(再履修)(2)―中級ミクロ経済学I
国際経済学(2)―国際経済基礎論(2)	中級ミクロ経済学II(再履修)(2)―中級ミクロ経済学II
経済体制論(2)―経済システム論(2)	中級マクロ経済学I(再履修)(2)―中級マクロ経済学I
開発経済学(2)―経済開発論(2)	中級マクロ経済学II(再履修)(2)―中級マクロ経済学II
中近世日本経済史(2)―中・近世日本経済史(2)	中級ミクロ経済学I演習(1)・中級ミクロ経済学II演習(1)―演習経済原論I(2)
中近世西洋経済史(2)―中・近世西洋経済史(2)	中級マクロ経済学I演習(1)・中級マクロ経済学II演習(1)―演習経済原論II(2)
近現代日本経済史(2)―近・現代日本経済史(2)	上級ミクロ経済学IA(2)・上級ミクロ経済学IB(2)―ミクロ経済学(4)
近現代西洋経済史(2)―近・現代西洋経済史(2)	上級マクロ経済学IA(2)・上級マクロ経済学IB(2)―マクロ経済学(4)

科目名変更に伴う科目名新旧対照表(18年度以前生対象) 新科目名(単位数)―旧科目名(単位数)

上級計量経済学A(2)―上級統計推理論(2)	上級計量経済学B(2)―上級計量経済学(2)
------------------------	------------------------

科目名変更に伴う科目名新旧対照表(19年度以前生対象) 新科目名(単位数)―旧科目名(単位数)

グローバル環境におけるリーダーシップ～総合商社の観点から～(2)―グローバル環境における総合商社(ビジネス体感型ワークショップ)(2)
---